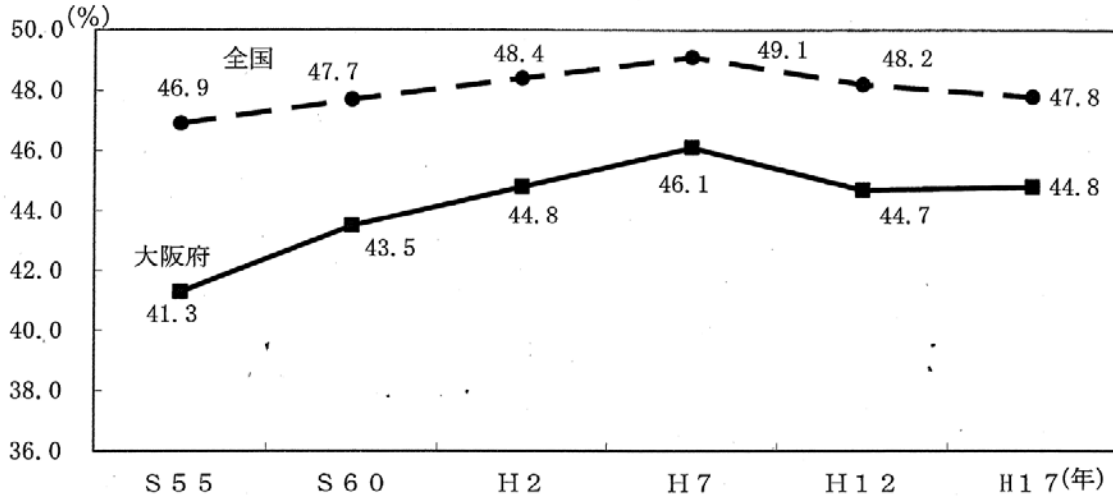


## ② 女性労働の現状

### (i) 女性の労働力

平成17年の大阪府における女性の労働力率(\*)は、44.8%であり、依然として全国平均より低い。[図3-②-1-1]

図3-②-1-1 女性の労働力率の推移(大阪府 全国)

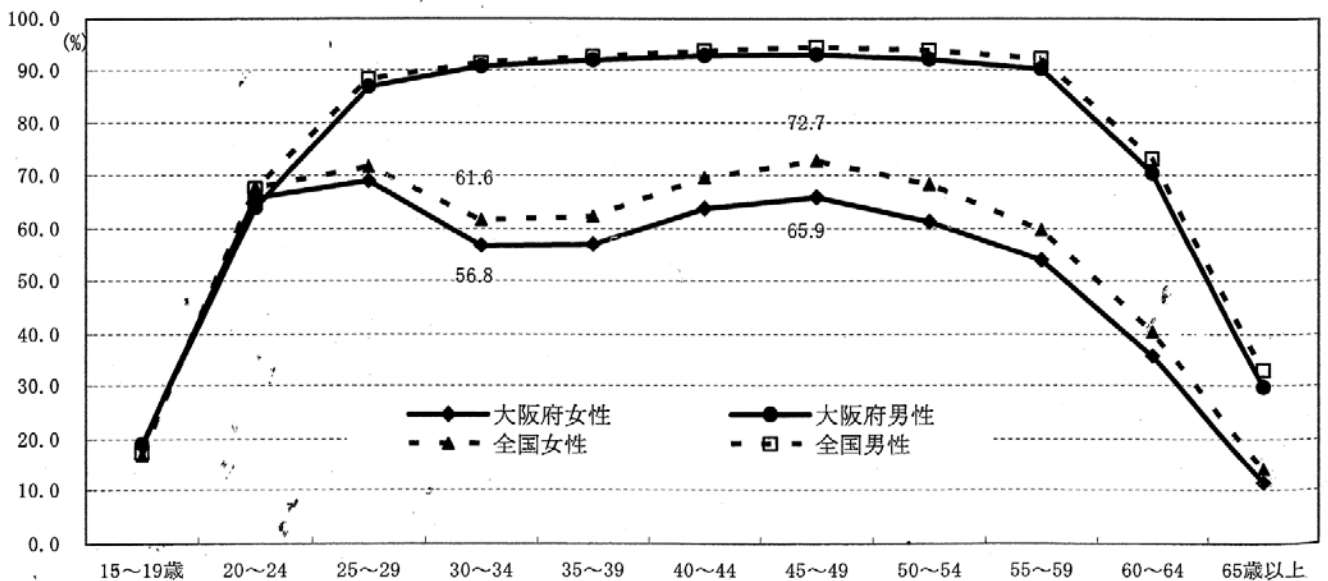


資料出所：総務省「国勢調査」

(\*) 労働力率：「労働力人口」(仕事をした「就業者」と仕事を持ちながら休んでいた「休業者」及び仕事がなくして仕事を探していた「完全失業者」の数の計)を「15歳以上人口(労働力状態不詳を含む)」で除し、100をかけた値。

年齢階級別に見ると、20歳代後半と40歳代後半を山とし、30歳代前半を谷とするM字型を描く。これは、出産・子育てにあたる時期に離職する女性が多いことが原因と考えられ、わが国の女性労働力率の特徴である。大阪府の場合は、全国と比べ、谷が深くなっている。[図3-②-1-2]

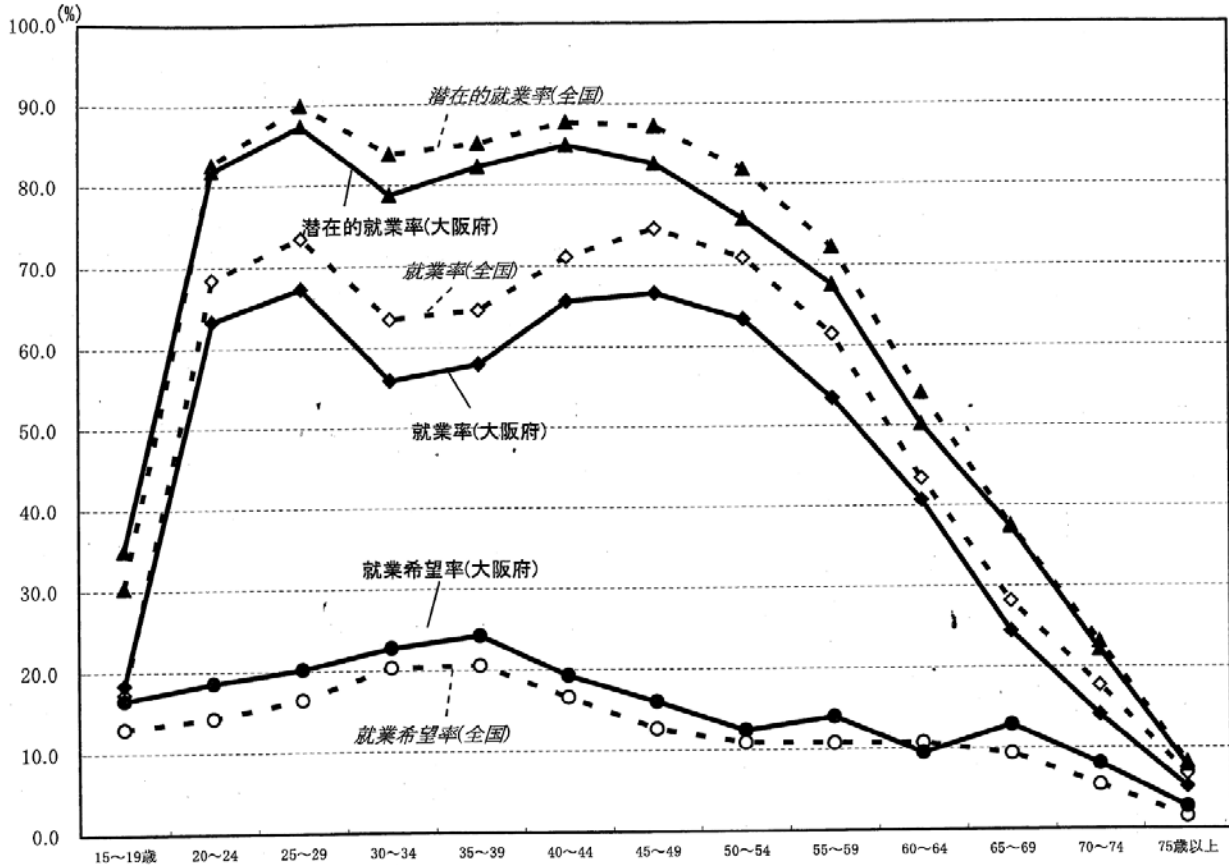
図3-②-1-2 性別・年齢階級別労働力率(大阪府 全国)



資料出所：総務省「国勢調査」(平成17年)

就業者数に就業希望者数を加えた数を労働力人口で除した潜在的就業率をみると、大阪府、全国ともに M 字の谷は浅くなることから、出産や育児等のため、自らの意思に反して仕事をやめている女性が多いことがわかる。〔図3-②-1-3〕

図3-②-1-3 年齢階級別女性の潜在的就業率(大阪府 全国)



資料出所：総務省「就業構造基本調査」(平成 19 年)

(注)潜在的就業率=(就業者数(年齢階級別)+就業希望者数(年齢階級別))/15歳以上人口(年齢階級別)